

『骨髄バンクコーディネーター期間の短縮とドナープールの質向上による造血幹細胞移植の  
最適な機会提供に関する研究』

分担課題名：骨髄バンクコーディネーターにおける効率化のための要因の探索

研究分担者 吉内一浩 東京大学医学部附属病院心療内科 / 准教授

**研究要旨**

本研究においては、ドナー登録者へのアンケート調査を行うことにより、ドナー理由でコーディネーター中止となる確率を減らすための要因を探索し、骨髄バンクコーディネーターの効率化を目指すことを目的とする。方法としては、まず、ドナー登録者のうち、実際にドナーとなった者、ドナー理由でコーディネーター中止となった者に対して、インタビュー調査を行い、幹細胞提供に至る過程での障害・行動制御要因を抽出する。そして、ドナー登録者を対象として、上記で抽出された要因や、行動経済学的観点から必要と考えられる項目を含めた大規模アンケート調査を行い、中止ドナーと採取ドナーを比較することにより、採取に至る確率を上げる要因を抽出する。今年度は、2015 年度および 2016 年度にコーディネーターが行われた 40 歳未満の方 10,000 名を対象に、アンケート調査を作成・送付を行った。

**A. 研究目的**

骨髄バンクドナーからの非血縁骨髄移植に関して、本邦においては、コーディネーター期間が 5 か月間と長い点が問題である。そこで、本研究においては、ドナー登録者へのアンケート調査を行うことにより、ドナー理由でコーディネーター中止となる確率を減らすための要因を探索し、骨髄バンクコーディネーターの効率化を目指すことを目的とする。

**B. 研究方法**

**【1】インタビュー調査による調査項目の抽出**

ドナー登録者のうち、実際にドナーとなった者、ドナー理由でコーディネーター中止となった者に対して、インタビュー調査を行い、幹細胞提供に至る過程での障害・行動制御要因を抽出する。

**【2】アンケート調査による骨髄バンクコーディネーターにおける効率化のための要因の探索**

ドナー登録者のうち、2015 年度および 2016 年度にコーディネーターが行われた 40 歳未満の方 10,000 名

を対象に、アンケート調査の作成・送付を行った。アンケート調査の内容は、【1】で抽出された要因や、行動経済学的観点から必要と考えられる項目を含め、中止ドナーと採取ドナーを比較することにより、採取に至る確率を上げる要因を抽出する。

**<倫理面への配慮>**

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従い、東京大学医学系研究科倫理審査委員会で承認を受けた(審査番号 11862)。

研究者は倫理審査委員会で承認が得られた説明文書をドナー登録者に渡し、研究への参加について依頼した。同意の拒否や撤回により不利益をこうむることはないことも併せて文書にて説明した。

**C. 研究結果**

**【1】インタビュー調査による調査項目の抽出**

幹細胞提供に至ったドナー 8 名のインタビューが実施された。その結果、予想された通り、いずれも高いモチベーションが維持されていた。また、献

血を数多くこなしており、骨髄提供に伴うリスクや痛みへの不安については、大きな懸念は聞かれなかった。ただし、対象者の多くの懸念要因としては、仕事や生活面での調整であった。

## 【2】アンケート調査による骨髄バンクコーディネーターにおける効率化のための要因の探索

方法に記載した通り、ナー登録者のうち、2015年度および2016年度にコーディネーターが行われた40歳未満の方10,000名に、アンケート調査用紙を送付した。

### D. 考察

今年度は、前年度の幹細胞提供に至ったドナーからだけのインタビュー結果も参考にして、献血回数や、前年度のインタビュー調査で明らかとなった懸念要因と関連して、「どの程度、仕事や家庭において裁量度があるか」、あるいは、「周囲からのサポートが得られるか」、という点に関する調査項目も含めることが必要であり、作成を行った。

今年度は、アンケート調査票の作成および送付を実施したので、次年度は、回収・データ解析を行い、提言につなげたい。

### E. 結論

昨年度のインタビュー調査を元に、アンケート調査票を作成し、コーディネーターが行われた10,000名を対象に、調査票を送付したので、次年度、重要な知見が得られることが期待される。

### G. 研究発表

#### 【1】論文発表

1. Harashima S, Yoneda R, Horie T, Kayano M,

Fujioka Y, Nakamura F, Kurokawa M, Yoshiuchi K. Development of the Japanese Version of the Psychosocial Assessment of Candidates for Transplantation in Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation. Psychosomatics. 2017 58(3) 292-8.

#### 【2】学会発表

1. Miyamoto S, Harashima S, Yoneda R, Hiraide M, Otani M, Yoshiuchi K. Influence of pre-transplant stress coping style on post-transplant overall survival in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation recipients with hematologic malignancies. 76th Annual Scientific Meeting of the American Psychosomatic Society 2018.3.7 (Louisville, USA).

2. Yoshiuchi K. Psychosocial factors and depression and cancer prognosis. (Symposium) Asia-Pacific Cancer Conference 2017 2017.6.23 (Seoul, South Korea).

### H. 知的財産権の出願・登録状況

#### 【1】特許取得

#### 【2】実用新案登録

#### 【3】その他

該当事項なし